



広報

# なほ

市民の友

第659号 毎月1回発行  
2005年(平成17年)

12月

発行●那覇市 編集●秘書広報課  
〒900-8585 那覇市泉崎1丁目1番1号  
☎867-0111 ●印刷 光文堂印刷機

市の人口と世帯	
※( )内はうち外国人	
2005(平成17)年10月末現在	
総人口	315,242(1,861)
男	152,445( 943)
女	162,797( 918)
世帯数	127,613(1,068)
住民基本台帳人口の内訳(外国人を除く)	
本 庁	92,245
真和志	106,025
首 里	58,367
小 浜	56,744



## 王朝時代にタイムスリップ

### 第40回首里文化祭 古式行列

「ウシユガナシメース、ウトウィン  
ドー(御主加那志前のお通りだまー)」。先導役の謡中門(ウチーナカジヨウ)の厳かな口上を合図に、王朝絵巻から抜け出してきたかのような鮮やかな衣裳に身を包んだ行列が、首里城から龍潭通りを練り歩いていく。

毎年、11月3日の文化の日に行われる「古式行列」は、首里文化祭の最大のイベントだ。

「古式行列」は、御主加那志前(琉球国王)が、国民の幸福と国家の安泰を祈願して、円覚寺、天王寺、天界寺の3カ所を参拝した初行幸(ハチウチヨウハイ)行列のこと。

晴れ渡った秋空の下、牛ブラや馬ブラ、ガクなど、独特の音色を響かせる路地楽(ろじがく)に合わせ、威厳を保ちながらゆつくりと歩む撰政(シッシ)と三司官、親方(ウエカタ)たち。王室の繁栄と五穀豊穡を祈るウエナを謡う神女や御内原(ウチハラ)と呼ばれる女官などが、首里地域のみなさん総勢240人により再現された。

行列に続き伝統芸能パレードや、旗頭ガーイーなどが行われ、仕掛け花火が色どりを添え、首里地域は終日、華やかなお祭りムードで盛り上がった。

12月から新こみの  
紙分け方出し方がスタート  
平成18年度保育所入所児童募集  
万の災害に備えて準備は  
万全ですか?  
情報PACK

6 4 3 2  
7 5

### 協働のまちづくり 那覇を紡ぐ



「協働」とは、市民、市民団体、事業者、市が機能の違いや相互の特性を理解し互いに補完し合い、よきパートナーとして、協力し合う活動体系をいい、個人あるいは一つの組織だけではできないような地域の様々な悩みや課題を解決するために行います。

堀川首里金城町自治会長を中心とする首里金城町住民と、行政との協働による作業により、生活環境向上と歴史文化の継承の融合をめざす、「首里金城町まちづくり方針」が今年6月にできました。

この方針は、住民ワークショップや勉強会を重ねて作成したもので、「住むことが誇りに思えるまち」をめざしたものです。

### 住むことが 誇りに思えるまち

首里金城町石畳道周辺は、琉球王朝時代のまちなみや多くの文化財を残す貴重な地域として、大切に保全されてきました。これは、先代からの絶え間ない努力の賜物だと思われま。一方、昔ながらの生活環境は、安全性や利便性、ライフスタイルなどの大きな変化に対応できず、環境の改善は昨今の課題となっていました。

いままでの整備事業  
首里金城町は、石畳道や民家の石垣・ヒンプンと共に、町内を縦横に延びる細街路(スーシ)がまちの魅力のひとつになっています。市ではこれまで、寒川線や金城東線等の主要生活道路の新設、石畳道や村ガ(井泉)の補修、伝統的な民家をモデルとした金城村屋の建設などを手がけてきました。しかし、遅々として生活環境の整備が進まないと感じる住民も多く、文化財や歴史的景観の保全と道路



熱心に話し合いを続ける地域のみなさん

本紙は「カラーバリアフリー(色覚障壁の除去)」につとめています。

お気づきの点がありましたらお寄せください。  
☎862-9942 秘書広報課

再生紙を  
12100  
使用しています。